

# ブロードバンドソリューション

伊藤隆夫\* 磯西徹明\*  
 中川智明\*\* 田名網淳夫\*  
 富樫昌孝\*\*\*

## 要旨

ネットワークのブロードバンド化により、表現が豊かなリッチコンテンツ(大容量コンテンツ; 高品質な映像や音声など)のやり取りが可能となり、それによって新たなシステム化ニーズが生まれている。

このようなブロードバンド市場に対し、三菱電機グループでは、ブロードバンドにフォーカスしたフレームワークとして“DiamondStream(注1)”を掲げ、コンサルテーションからインフラ、システム設計・構築、運用・保守、コンテンツサービスまでのブロードバンドに関連するトータルソリューションサービスを提供している。

具体的には、ブロードバンドコンテンツを(株)ドリーム・トレイン・インターネット(DTI)が“DreamScreen(注2)”や“DreamCDN”として提供し、システム設計・構築などのインテグレーションとしては三菱電機インフォメーションシステムズ(株)(MDIS)がMPEG-4(Motion Picture Experts

Group-4 配信システム“DiamondStream XE”, 統合化マーケティングサイト構築ツール“DiamondStream Active-Marketer”やコンテンツセキュリティソリューションなどを提供している。インターネット接続、データセンターなどのブロードバンドネットワークのインフラサービスは三菱電機情報ネットワーク(株)(MIND)が提供しており、三菱電機インフォメーションテクノロジー(株)(MDIT)は遠隔録画カメラシステム“DiaTVS”でブロードバンドネットワークを活用するソリューションを提供している。

今後は、ブロードバンドネットワークを基盤として、無線(携帯電話、無線LAN)やPLC(電力線搬送通信)などによるネットワークのコピキタス化が進むと推測され、これに対応するソリューションサービスに注力していく。

(注1) DiamondStreamは、三菱電機(株)の登録商標である。

(注2) DiamondScreenは、(株)ドリーム・トレイン・インターネットの登録商標である。



ブロードバンドソリューションフレームワーク“DiamondStream”の全体イメージ図

この図は、三菱電機グループのブロードバンドソリューションフレームワークDiamondStreamの全体をイメージ化したものである。“地上”“衛星”及び“携帯”のネットワークインフラをベースとしたコピキタスなネットワークでの様々な利用シーンに対して、“システムコンサルテーション”システム設計・構築“及び”運用・保守サービス”までのトータルソリューションを提供する。